

第 6 章

外部資金への申請と採択状況

はじめに

インフラ長寿命化センターは、“人”、“もの”、“場所”、“お金”もないバーチャルなセンターを有効活用し、外部資金等を獲得して、実質的な工学部センターとして機能させたいという趣旨で設立が認められた。したがって、インフラ長寿命化センターの兼務教員には、科学研究費やその他の競争的外部資金の獲得に向けて応募するようにお願いしている。

以下に、本センター兼務教員の競争的外部資金の獲得状況について記載する。

6.1 平成 23 年度科学研究費補助金採択分（インフラ長寿命化センター兼務教員）

表 6-1 科学研究費補助金採択分

種 目	期 間	研 究 課 題 名	H23 年度交付 金額（千円）	研究代表者
基盤 C	H23-25	橋梁一車両系の動的応答解析とモンテカルロ法を用いた疲労設計用衝撃係数の定式化	1,700 (間接経費含まず)	中村聖三
基盤 C	H23-25	電磁波を利用したコンクリート診断技術の高性能化	2,860	田中俊幸
基盤 B	H21-23	光学的手法によるリアルタイム非接触振動計測法の開発と非破壊検査への応用	1,700	松田 浩
若手 B	H22-24	増改築を行った伝統的家屋の構造性能評価のための基礎研究	600	安武敦子

6.2 平成 20～24 年度 科学技術戦略推進費（5000 万円×5 年）

「観光ナガサキを支える“道守”養成ユニット」

平成 20 年度に採択された“道守”養成ユニットの実施運営にインフラ長寿命化センターの構成員が一丸となって尽力した。実施内容等についての詳細は第 2 章に記載している。

6.3 その他の外部資金

農林水産省農村振興局平成 23 年度官民連携新技術研究開発事業（平成 23 年、平成 24 年）

題目：RC造農業水利施設のひび割れ劣化診断・補修システムの開発

新技術研究開発組合：西松建設（株）、（株）計測リサーチコンサルタント

試験研究機関：長崎大学、佐賀大学、東海大学

長崎大学担当：松田浩、出水亨

全体：17,575,000 円（平成 23 年度：4,358,101 円）

助成機関：ユニオン造形財団

助成名称：研究助成制度

課 題 名：屋外広告物の能動的コントロールによる景観形成に関する研究

研究代表者：安武敦子

共同研究者：

助成金額：1,500 千円

助成機関：長崎市

助成名称：受託研究

課 題 名：深堀地区まちなみ形成ガイドライン策定にかかる調査研究

研究代表者：安武敦子

共同研究者：渡辺貴史

助成金額：664 千円

助成機関：(財)先端建設技術センター

助成名称：研究開発助成

課 題 名：汎用建設機械を用いた表層土の強度に関する実務的簡易推定手法の開発

研究代表者：杉本 知史

共同研究者：

助成金額：1,975 千円

助成機関：(社)日本鉄鋼連盟

助成名称：2011 年度「鋼構造研究・教育助成事業」による NW 助成制度

課 題 名：既設の横断歩道橋を対象としたその利用と維持管理の実態調査

研究代表者：森田千尋

助成金額：1,000 千円

助成機関：(財)日本建設情報総合センター

助成名称：(財)日本建設情報総合センター研究助成制度

課 題 名：ICT を利活用した長崎県内橋梁の維持管理に関する研究

研究代表者：森田千尋

共同研究者：渡部祐介、牧野高平

助成金額：1,400 千円

平成 23 年度土木学会学術振興基金助成

題目「将来の建設業を担う工業高校土木科学生へのインフラ長寿命化学習」

研究代表者：出水享

金額：210 千円

平成 23 年度笹川科学財団研究助成<<学術研究部門>>

題目「光学的全視野計測法による鋼部材の加熱及び冷却過程の変形・ひずみ計測と溶接残留応力推定に関する研究」

研究代表者：出水享

金額：680 千円

平成 23 年度九州建設弘済会公益事業支援事業

題目：産学官民連携による社会資本整備に関するシンポジウムの開催について

研究代表者：出水享

金額：240 千円

